

紋 高 養 通 信

「生活単元学習の取り組み」

ますます寒い季節になり、オホーツク海にも流水がくる時期になりました。3学期を迎え、生徒たちは卒業や進級に向け、1年のまとめの学習に入りました。

現場実習や作業学習と同じように、将来、社会で生活するために必要な力をつけるための学習に「生活単元学習」があります。「生活単元学習」では、実際の経験をとおして生活に必要な知識や技能を身につけていくことをねらった学習です。

写真は、2年生の調理学習の様子です。バランスの良い献立を決めることから始まり、食材を揃え、調理するまで全て自分たちで行います。買い物では、賞味期限の意味や表示の見方、お金の扱いといった買い物の基本などを学ぶことができます。また、栄養のバランス、衛生面の注意、刃物やガス台などの安全な使い方、食事のマナーなど、調理学習という一つの題材でも、さまざまな要素を含んだ学習になるのです。



苦労して自分たちで作った食事を食べる顔は、とても満足そうでした。もちろん、後片付けも大切な学習です。

本校の生徒のほとんどは、卒業後は生まれ育った地域に戻り、何らかの形で働きながら生活することになります。就職を目指している生徒もたくさんいます。今回は調理学習についてご紹介しましたが、こうした実生活に根付いた題材に繰り返し取り組む中で、自分は将来どのような仕事に就きたいのか、どのような生活を送りたいのかを考えることが、卒業後の生活に向けて、働く経験と同じくらい大切なことです。

今月は、1、2年生の今年度最後の現場実習が行われます。今回も市内の各事業所にお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

紋別養護学校通信

紋別高等養護学校との交流学习:高等部

12月7日(木)に紋別高等養護学校との交流学习を行いました。当日は残念ながら、2名の生徒が欠席でしたが、高等部4名で張り切って出発しました。2年生は昨年度も交流していることもあり、学校に到着すると、少し緊張していましたが、紋別高等養護学校の先生方や友達に声を掛けられすぐにリラックスしました。控室では、紋別高等養護学校の生徒と「はじめまして」のあいさつをしたり、「好きなものはなんですか？」など聞かれたり、少し照れながらも楽しい交流のスタートとなりました。

今年度は紋別高等養護学校の生徒6名、本校生徒4名の計10名での交流で、とてもにぎやかな交流になりました。まずは全員で学校見学に向かいました。作業室にある見たこともないような大きな機械にびっくりすることや、木工作品のおもちゃを手に取り、自分の学校にはないものばかりに少し興奮気味に、教室をキョロキョロと見回していました。学校見学も終わるころには、さっきまで緊張していたはずが、



いつの間にか一緒に手をつないで歩いているなど、あっという間に仲良しになっている生徒もいました。学校見学後は、いよいよ窯業学習開始。今年は『角皿作り』を行いました。それぞれグループに分かれたあとは、各グループの生徒同士で伸ばし方や模様のつけ方などを聞いたり、教えてもらったりしながら、一緒に取り組み、すてきな作品ができあがりしました。完成した作品は紋別高等養護学校で焼いてもらった後、本校の生徒に届く予定になっているので、みんなで心待ちにしているところです。

午前中だけの短い時間でしたが、紋別高等養護学校の友達ととても楽しい時間を過ごし、それぞれが満足のいく交流を行えたようです。